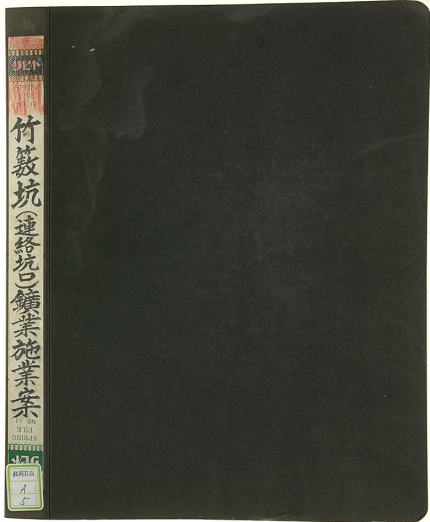




昭和四年二月二三日認可  
四福通炭業認弟二八号

竹篠坑  
(新卸坑)  
鉾業施業案

採登牙二二七八号



認 可 書

41 福岡通商局 第118 号

昭和 41.12.22 日

福岡 県 税務 登録 第 1278 号

日 吉 炭 鉱  
監 査 人  
明 治 一 郎

吉 川 天 明 殿

鉱業法第六十三条第二項の規定により 昭和 41 年 12 月  
22 日附申請された 日 吉 炭 鉱 附 属 坑 の 採 掘 権 に  
関する鉱業案は之を認可する

福岡通商産業局長 黒 部 稔





算 圖 卷 一 ( 變 更 ) 道 加

英 同 石 炭 礦 務 公 司  
日 青 鐵 礦 所





探掘権に関する諸案認可申請書



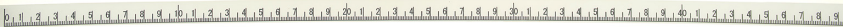
一 敷区所在地 福岡県若松区瀬瀬町、高瀬町、山田池  
 二 登録番号 福岡県探掘登録第一二七八号  
                   福岡県探掘登録第一四四号  
                   福岡県探掘登録第一六八七号  
                   福岡県探掘登録第一七三四号  
                   福岡県探掘登録第一七五五号  
 三 敷山名 日吉岡

右敷区において従来掘削中の竹炭坑を別紙変更理由により変更（変更、追加）掘削せしむるため、鉱業法第六十三条の規定により関係機関および説明図を添えて申請致します。



昭和四十一年十二月三十一日

北九州市若松区本町二丁目二〇六番地  
 探掘権者 共同石炭炭業株式会社  
 石代表取締役 入 空 太兵衛



堀田通南産業局長  
風部 慎 殿

福岡県嘉穂郡穂葉町大字才田二二六番地  
日吉炭鉱

販賣代理人 吉川 茂明

昭和四十一年十一月 日

福州縣採捕權登錄第一二七八號

租賦指登餘部 六一四番

第 六八七號

第七三四号

第七五五号

共同石炭鉱業株式会社

右代廣取勝後入交太兵衛

日吉決紙

販賣代理人 吉川茂明

變更（變更，追加）理由書

昭和十七年二月二十日竹板町商業会館可決、留後地区の増設に伴ひ八国に亘り追加変更の補填案を提出し、認可を受け作業中の補填案を次の理由により変更（変更、追加）します。

竹瀬坑は本郷上部区域の竹瀬八尺土層（上石、下石）及び竹瀬八尺本層の掘戻区域にあるので、その掘戻方決を変更する。

よその掘戻方決は今回、新御坑口の両側の掘戻を得たので概況を簡況し、その主幹坑道である新御坑道を新設し、掘戻坑道（入気）として利用し採掘を実施する。  
掘戻には右記新御及び従来の掘戻鉛並びに坑口を利用する。

二、当該鉱における掘戻案の認可および換装状況は次の通り

|         |                |                               |
|---------|----------------|-------------------------------|
| 竹 瀬 坑   | 昭和四十一年 九月 二日付  | 四十一掘戻換装案 六九号（採掘中）<br>（今回事業坑口） |
| 杉谷二尺坑   | 昭和四十一年 五月二十九日付 | 四十掘戻換装案 六六八号（採中）              |
| 一 坑     | 昭和四十一年 九月二二日付  | 四十一掘戻換装案 六九号（採中）              |
| 二 坑     | 昭和四十一年 九月二二日付  | 四十一掘戻換装案 六九号（採中）              |
| 海軍八尺坑   | 昭和三十五年十月 十七日付  | 三十五掘戻換装案 三五五号（採中）             |
| 大 谷 坑   | 昭和二十六年 十月 五日付  | 二六掘戻換装案 一八九号（採中）              |
| 大谷堀天掘坑  | 昭和二十六年 一月三十日付  | 二五掘換装案 二五四号（保止中）              |
| 金巻山堀天掘坑 | 昭和二十六年 一月三十日付  | 二五掘換装案 二五四号（保止中）              |
| 野添堀天掘坑  | 昭和三十一年十二月二十六日付 | 三〇掘戻換装案 三五五号（保止中）             |
| 才田堀天掘坑  | 昭和三十一年 六月二十七日付 | 三一掘戻換装案 一七九号（採中）              |
| 五反田堀天掘坑 | 昭和三十八年十二月二十日付  | 三八掘戻換装案 二四七号（採中）              |

採掘権に關する出願案（変更、追加）

北九州市若松区本町二丁目二〇六番地

採掘権者 共同石炭鉱業株式会社

右代表取締役 入 友 太兵衛

福岡県嘉穂郡福壽町大字才田二二六番地

日吉炭鉱

鉱業代理人 吉川茂



二、鉱区の所在地および面積

福岡県嘉穂郡福壽町、嘉穂町、山田市

面積 一八一〇ハール

三、採掘（鉱脈）権登録番号

福岡県採掘権登録簿二七七八号（面積一八一〇ハール）

福岡県採掘権登録簿六四四号（面積四三三四ハール）

全 部 六八七号（面積四三三四ハール）

全 部 七三四号（面積二四五五ハール）

全 部 七三五号（面積二五七一ハール）

四、鉱山名および石炭坑の名称

日吉炭鉱 竹藪坑（今直申館）、杉谷二尺坑、一尺、二尺、海軍八尺坑、大谷坑

大谷露天掘坑、牟多田露天掘坑、野添露天掘坑、才田露天掘坑、互反田露天掘坑

五、目的とする鉱物の名称

石炭（今直申館） 耐火粘土

六、採掘または採掘に關する事項

七、地質の狀態

申請区域の地質は第三紀層に属し、頁岩、砂岩、砂質頁岩、礫岩の互層より構成されてゐる。

この間に介在する炭炭層は互方層群であり、上部より竹藪層群、本層群、大谷層群の三炭層が賦存してゐる。

層間は当住所東区（深登南二七七八号）のほぼ中央に竹谷層群、南部に本層群の各層賦存する。

走向層は概ね北西から南東に走り、北東の当申請区域に向つて約二〇度傾斜してゐる。従つて申請区域は全炭層群が賦存してゐる。

主を斷層は申請区域の西部から南部に向つて傾次、深さ約二〇米の才田川斷層、深上り約五米の山田川斷層、深上り約二十五米の日吉斷層、深上り約三〇米の吉

河断層がある。

この調査の断面は、約南北に走る正断層である。

本層群のコーナー五尺層、下二尺層、土間八尺層、海草八尺層の四層層は火成岩の侵入を受け、鉀輝、燐石に変化している。

炭層間隙は、竹藪層群、本層群間は約七〇米、本層群、大焼層群は約一五〇米である。

2. 主要な炭層の位置、走向、傾斜および厚さ

深淵炭層は竹客層群の竹叢八尺上層（上石、下石）、竹叢八尺本層の二炭層にして、走向は概ね三一〇度、 $\delta$ 三四〇度の方向に向つて約二〇度傾斜す。

各炭層共全区域に亘つて賦存している。

炭層の厚さは凡そ左記の通り

竹藏八尺上層（上石） 山丈一五八〇米

廣文Q九四〇第

(下石)

16825米

三、三七〇米

竹竈八尺本層

 $\cdot \text{FeO} = 0 \text{ 米}$ 

二七〇〇米

其埋藏深度如上图可探深度

[illegible]

採集の方法

今回の変更地盤区域の竹藪八尺上層（上石、下石）及竹藪八尺本層の探検方法は今回新設の新鑛坑口を利用し、その主幹坑道である新即より探検を実施する。

新設坑口である新卸坑口は鉱區種（探登第、二七八号以下同じ）第十九号より、方位一七四度〇〇分、距離一ニ九米の位置である。

○西米の位置である。

人道坑口も現在坑口で鉱区標第十八号より、方位三一〇度〇〇分、距離二五三米



の位置である。

新潟県区域の採炭は今岡坑の新掘出口（図示A点）より方位四二度三〇分、平均傾斜二〇度〇〇分、加青ニ一米×ニ一米の沿層坑道を一七五米掘進し中止する。新気路は現在の坑道維持地点（図示B点）よりその傾の方位三四一度〇〇分、平均傾斜一二度〇〇分、加青ニ一米×ニ一米にて三〇米取明掘進し中止する。

左道師は左一片地点（図示C点）より新掘と同一方向（方位四二度三〇分）にて一八米掘進し、左六片と連絡するので中止する。

右道師も図示D点より新掘と同一方向にて八五米掘進すると右三片に連絡するので中止する。

以上の方法により主幹坑道を完成せしめる。

片幹坑道である上部坑道は例本即坑道と新掘坑道の連絡のため現在側道中（現在地点図示E点）と新掘坑道（図示F点）とを連絡せしめ、尾端区域内の通気連絡坑道として使用する。

片幹坑道は右側に（右一片より右三片）三片幹、左側に（左一片より左六片）五片幹を設定し、その片幹坑道（加青ニ八米×ニ八米）は最大一五五米、最小四五米である。

片幹間隔は原則として三〇～四〇米である。

#### 支柱方法

各即坑道の支柱は通常鉄軸で、鋼は木脚とする。

片幹坑道は木脚を原則とし、必要に応じて鉄軸を使用する。

切羽の支柱は通常坑木の荷合棒で行い、採掘路は必要に応じて、空木礎、実木礎又は便巻充填を要する。

充填率は約三〇％とする。

#### 採炭の方法

採炭採掘が主であるので、原則として昇降往降式（切羽巾三米～六米）の採炭方法によるものとす。

切羽の穿孔は電気オーガーを使用し、電気機被にて採炭を怠す。

一年間における予定出炭量

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 竹 藪 坑 | 六〇〇〇〇 吨（月産四〇〇〇 吨） |
| （新掘坑） | （ 〃 一〇〇〇 吨）       |
| 杉谷二尺坑 | 七八〇〇〇 吨（月産八五〇〇 吨） |
| 一 坑   | 一〇〇〇〇 吨（ 〃 五〇〇 吨） |
| 二 坑   | 一〇〇〇〇 吨（ 〃 五〇〇 吨） |
| 海軍八尺坑 | 六〇〇〇 吨（ 〃 五〇〇 吨）  |

六 運搬に関する事項

幹線坑道には一五匹軌条、片餅は一〇匹軌条を敷設し、軌間はQ五五米である。炭車は容量Q六六立方メートルの木製炭車、およびQ七二立方メートルの鉄製炭車を混合して使用する。

坑外主要巻揚機（五〇馬力車）を坑口より約七五米の位置に設置し、該巻揚機より新坑の出炭はすべてこれによつて搬出する。

付坑内運搬

坑内の出炭はすべて前記坑外に設置する五〇馬力主要巻揚機で各片餅の舉立より坑外に巻揚げ、取炭ボクットのチフアラまで運搬す。

片餅坑道は適當手持運搬とする。

切羽運搬は、トラフ又はスラを使用し、戸口まで人力にて運搬し炭車に積込む。

その他は前面作業の點可通り

付坑外運搬

坑外に搬出された石炭は新設する取炭ボクットにチフアラで振振され、振振した石炭はダンパー（六匹車）にて竹炭坑の既設取炭ボクット迄搬送する。搬送された石炭は現有の竹炭坑水洗機により選炭する。

精選された精炭は貯炭庫に入れ、貯炭庫より送炭機に受け、能率駅まで約九五〇米を五〇馬力エンドレス巻で運搬し、該機より流込みにより貨車積みとする。

付坑外便運搬

前記坑外主要巻揚機によつて搬出された坑内便は坑口附近の田便揚車機まで手持にて運搬し捨炭する。

七 選炭に関する事項

現在の竹炭選炭機に於いた取炭を電動チフアラで振振、容量五五匹のホッパーに入れ、ホッパーよりワイダーで五〇匹のシンマストリーンにかけ、取炭取給に分ける。

取炭は毎時二〇匹のピッキングバンドで精選、便を手渡し、精選は毎時一〇匹のロルトラフシャーで破碎し、ベルトコンベヤーでボクットに入れる。シンマストリーン下の五〇匹以下の取炭は取炭のトラフシャーしたものと一緒に毎時五〇匹のベルトコンベヤーで水洗機に送る。

水洗はバウム式（毎時五〇匹）水洗機により選炭し、トロシムルに入れ、二五匹以上は洗中塊を取り、中塊水切ボクットエレベーター（毎時一〇匹）でボクットへ送る。二五匹以下は洗粉としてピットに入れ毎時一五匹の水切ボクットエレベーターでボクットへ送る。

洗粉ボクットよりの水洗水は水槽に入れ、これよりエ8式浮選選炭機（毎時五匹）

二台を揃に微粉を回収する。

微粉炭は一五馬力渦巻ポンプで洗粉バケツト上まで上げ、サイタロンにて脱水後洗粉に混入する。

微粉回収後の水洗水は沈澱槽に入れ浄水の上流導する。

水槽よりオーバーフローしたる水は循環水として循環水槽へ入れ使用する。

水洗炭は毎時一五馬のバケツトエレベーターにて洗粉バケツトに入れ、バケツト下で炭車に受け溜槽場へ搬送する。

原料品位 約 八〇〇カロリー

精炭品位 六四〇〇カロリー

灰分 二〇%

濃炭歩留 六%

八操業上の危害手防止に関する事項

一 通気、排水、照明、および免震に関する事項

(一) 通気

通気方法は本節より人脱し新風を通気して、排気鉤を通り、排気口より坑外に排出する。

尚排気口には一〇〇馬力、食圧一二〇種、風量二五〇〇立方メートル毎分のシロワコ型扇風機を設置している。

通気系統は新風を人脱とし各片扇へ、片扇より切羽を経て扇片扇を通り、上操業道を経て、排気鉤に連絡して、排気口より排出する。

その間は前記扇風の制御する。

(二) 排水

現在の坑内水は常時毎分Qニ立方メートル程度で、降雨時は毎分Qハ八立方メートル程度であるので、これに對する排水設備をなし坑外へ排水する。

排水区域は扇部の掘削区域であるので坑内水は全部へ排水する。

従つてその排水方法は杉谷本節の坑底ポンプ（五〇馬力×Qハ五立方メートル毎分×一五〇米）より右五片の中段ポンプ庫まで四吋パイプで排水し、バケツトに入れ、それより中段ポンプ（一五〇馬力×二立方メートル毎分×二〇〇米）に送り八吋パイプにて直接坑外へ排水する。

(三) 照明

坑内照明は主要坑道および掘削所、ポンプ庫等には防塵絶縁合格の被覆した一〇〇Vの電燈を適宜取付ける。

坑内作業員は瓦斯型電氣安全燈を使用する。

(四) 免震

導索は一〇号特種ダイナマイト、三〇号固定導索、電氣雷管は一〇号、五号、同種は二、三米、免震器は旭火藥工業を使用し、免震採取する。

火藥製の運搬取扱い、保管室に免震は有資格者及決定係員に之をなせしめ、法規に定められた諸事項を遵守する。

工作の安全その他人に対する危害の予防に關する事項  
瓦斯検査は保安係が埋研瓦斯干渉計により検査し、通気状況、温度、湿度等の検査  
を常時実施する。

坑道は坑木で押入し、押入は坑木でつなぎ、天棚、側壁の崩落を防止し、切羽は打  
柱、荷合棒を施し、掘削は必要に応じて空木掘、突木掘および突充掘を施す。

坑内歩道坑道は、車道と、人道との間隔を適當にとり、車道は常時補修し、脱線そ  
の他事故を防止する。

坑内送電線は、鐵道ケーブル、キヤブタイケーブル又はビニールケーブルを使  
用し、保安係員をして監視させ、漏電、感電事故を防止すると共に法規に定められ  
た器具を使用し、事故を防止する。

今回の掘削区域内の採掘に於ける別紙図示の町道に對し六〇度角線内で地盤より三  
五米の以浅区域（図示）は坑道通過のものとし、掘削は行わない。

又採掘終了後は右記坑道は充填を行う。

その他の三五米以浅区域はその採掘率は五〇％以下とし掘削跡に對しては、部分充  
填及び突木掘併用の充填を五〇％以上実施する。  
その他既認可掘削案による。

坑外又は坑内掘削の保全に關する事項

坑外に於ける掘削は既有的階層説を利用するも、その外五〇馬力主要巻揚機及取炭  
ボケットを新設する。

作炭場、坑内外機械器具並に電気工作物および建造物に關しては危害防止、火災予  
防および防火設備を圖し、保安係員に例状の有無を点検させ、鉱山保安法による事  
項を遵守する。

今回の掘削区域附近に鉱業法第六十四條の該当物件（町道、サンドパツタ工場、民  
家）があるので、その管轄者の承諾書と民家の通り添附している。

坑道の防止のための掘削に關する事項

（イ）貯炭場および抛石たい掘削の位置および構造

新掘坑より運搬された取炭は新設の取炭ボケットに搬入し、それよりダンプカー  
にて竹炭坑の竹炭取炭貯炭場まで運搬する。

竹炭貯炭場は取炭貯炭場を水洗機の下に約二〇〇馬の鉄筋コンクリート造りを  
有し、遊炭場下には約二六七〇馬の階段貯炭場を有している。

抛石は現在使用している便所場を利用する。

その方法は現在の坑外七五馬力巻揚機で巻揚げ取炭ボケットに搬入する。  
搬入された炭は約三〇〇米離れた日吉便所場までダンプカー（六五馬）により運  
搬し搬送する。

その地積子定量は二九六〇立方米である。

該地区附近には、民家および公共施設等の建築物はなく、用地は社有地で被害は起らないが、若しその原れのある時は土質、石垣、鋼等の防護施設を行い、地江り、幹道等の手防工事を為す。

河内水、岡本、水鏡等に対する地盤施設に関する事項

河内より排水された河内水は、既外にあるコンクリート造りの沈降槽に入れ使用水及び水洗用として使用する。

洗水の放流については、式存遊走渠により飯粉回収機チールは一応汚水沈降槽に送り、オーバーした汚水は他の沈降槽に導き浄化の上、排水専用コンクリート戸欄を通じて約九〇〇米離れた才田川に放流する。

本渠に対する被害は当敷に於いて、現在給水設備をなしているから問題は起らないので施設は別に必要でない。

又岡本に關しては同様に附す。

内その他

河内区域の地盤は原野、山林で、地上構は社有地、町有地、借用地であるので、地上構に關する問題は起らない。

その低地河内河内渠に關する

九重渠敷区又は御座敷の渠敷指考との渠敷上の調査に關する事項

本敷区は九重渠敷区で竹谷、本澤群は共に石炭(日吉)、大徳郡は渡辺福樂、田安郡は九重に重復設定であるが層間二五〇米におよび、深度大なるため渠敷上の調査事項はない。

御座敷区は北西部に渡辺福樂渠があるも、敷区調査として五米の調査設備を設ける。

北東部には古河下山田渠があるも、地盤区域とは側面を有しているので特に渠敷上の調査の必要はない。

北部には渠敷区第六一四号があるも、当渠敷所の渠敷区域であるので、調査の必要はない。

その外等に渠敷については調査の必要はない。

その他既認可渠敷の通り。

その地積予定量は二九六〇立方米である。

敷地区附近には、民家および公共施設等の建物はなく、用地は私有地で被害は起らないが、若しその地のある時は土質、石垣、鋼等の防護施設を行い、地切り、削土等の予防工事を為す。

河川水、雨水、水浸等に対する地盤施設に関する事項

坑内より排水された坑内水は、坑外にあるコンクリート造りの沈降槽に入れ使用水及び水洗用水として使用する。

洗水の処理については、式浮遊面炭層により炭粉回収機チールは一応汚水沈降槽に送り、オーバーした汚水は他の沈降槽に導き浄化の上、排水専用コンクリート戸桶を通じて約九〇〇米離れた才田川に放流する。

水浸に対する被害は当敷に於いて、現在排水設備をなしているから問題は起らないので施設は別に必要でない。

又雨水に関しては問題は無い。

併その他

採掘区域の地質は原野、山林で、地上権は私有地、公有地、借用地であるので、地上権に関する紛争は起らない。

その他既設可搬炭路通り

九

本敷地の原区は株式会社泰生鉱業所で、竹谷月  
群は共同石炭(日吉)の強運増区で、渡辺鉱業株  
式会社 額集炭鉱の主力群及山形炭鉱の大壁戸群  
が重頼であるが、竹谷戸間は約八〇米におよび累  
積大なるたの標葉上の調整はない。

炭質、田安  
上の調整事  
炭層を設け  
て特に調整  
調整の必要

建物及び道路管理人の承諾願

昭和四十二年十一月一日

正本対照済



稲葉町六丁目

若尾炭鉱株式会社 炭業所  
炭業代理人 吉川 茂明

稲葉町六丁目 西田様盛 殿  
稲葉町六丁目 木本元六 殿  
西村文男 殿

今般左衛門により坑口を開設の上、石炭採掘を實施致しますので、  
炭業法第六十四条の規定に従い、管理人の承諾を依頼申し上げます。

記

一 施業地区の表示

一 施業地目 稲葉町六丁目六へう向土地（別圖の通り）

一 坑口開設の上、石炭採掘

一 五十米以内の物件 本所——上開の町道

木本元六殿住家及附屬建物  
サトハチクニ湯及附屬建物

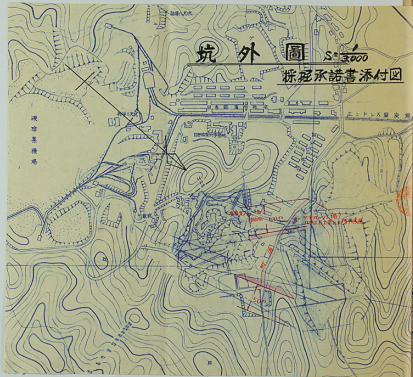
以上

第五葉 炭量計算圖

縮尺 三千分の一







右承諾する

昭和二十一年四月四日

東京市立大塚分館蔵

木本元六  
西村文男





鑛業施業案添附圖（変更追加）

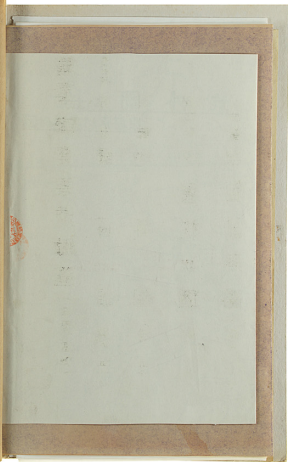
第十葉の内 第一葉 鑛 區 圖 縮尺 五千分の一

第二葉 地 質 圖 縮尺 五千分の一

第三葉 炭層柱狀圖 縮尺 六十分の一

第四葉 採掘計画圖 縮尺 三千分の一

第五葉 炭量計算圖 縮尺 三千分の一



第十葉の内 第一葉

信交  
第1036号  
411118  
昭和通商産業省  
税関税務局

鑛

區

圖

縮尺 五千分の一



銘葉権者  
代取扱錦役  
銘葉代理人  
共同石炭銘葉株式会社  
入交 木兵衛  
吉川 茂明



平面圖 縮尺  $\frac{1}{3500}$

[illegible]





 凡例

露頭
 陽歷五重複境界線
 鐵區線
 泉源線

東惠翁中央屋座七百三十九坪  
 鐵工棟有 共同石水爐木六合仁  
 右心水師役 入交 大藏  
 福岡縣嘉穂郡嘉穂町金土七段五五番地  
 右代理人 明石友助





全縣全野島嶼町  
大字牛 護 民地田畑山林原野  
面積五千六百零拾零アール

石

石六理人  
明石  
友朋

同德重編

[illegible]



地質



縮尺五千分の一



鉅業権者 共同石炭館  
代表取締役 入交 太兵衛  
館業代理人 吉川 茂  
明



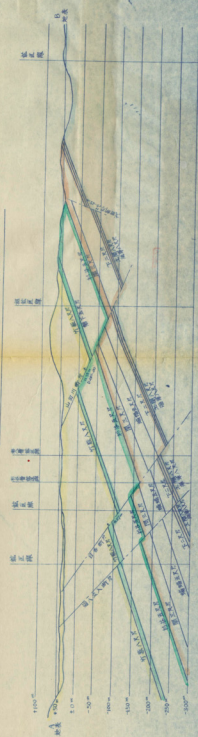


# 地質圖

縮尺 五千分一



A-B 斷面圖



第十卷 第三葉



炭層柱狀圖

縮尺六十分一



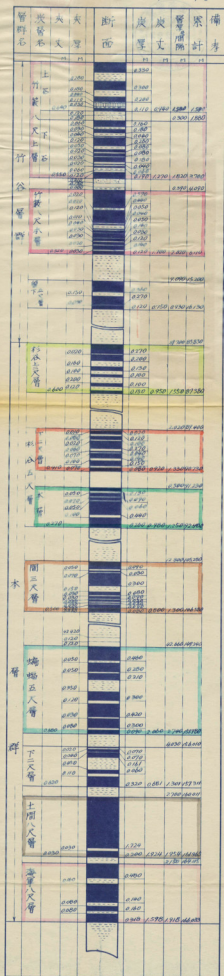
銘業權者  
代表取締役  
銘業代理人  
吉川茂明

共同石炭銘業株式會社  
入交水兵衛

明

# 炭層柱狀圖

縮尺 1/60





第十葉の内 第四葉

第4111号  
41.11.12  
昭和16年11月12日  
採掘計画図

採掘計画図

縮尺三十分ノ一



鉱業権者  
代表取締役  
鉱業代理人  
共同石炭鉱業株式會社  
入交 太兵衛  
吉川 茂

明



第十葉の内 第五葉

炭量計算圖

縮尺三十分ノ一

鉛筆推者  
代表取締役  
兼兼代理人  
共同石炭館株式會社  
入交 太兵衛  
吉川 茂明



鉱業権者 共同石炭鉱業株式会社  
 代表取締役 入交 太兵衛  
 鉱業代理人 吉川 茂 明

# 炭量計算圖

炭量計算表 面積計算はアウニメーターによる

| 炭層名       | 炭丈<br>(m) | 比重   | 平面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 傾斜<br>(度) | 傾斜<br>(%)     | 突面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 理論埋藏炭量<br>(kg) | 安全率<br>(%) | 実収率<br>(%) | 実収炭量<br>(kg) |
|-----------|-----------|------|--------------------------|-----------|---------------|--------------------------|----------------|------------|------------|--------------|
| 竹藪八尺上層(上) | 6940      | 1.30 | 18520                    | 26°       | 20'-00" 10642 | 19,710                   | 24,090         | 80         | 60         | 11,560       |
| "         | "         | "    | 6240                     | "         | "             | 6,640                    | 8,110          | 70         | 40         | 2,270        |
| 計         |           |      | 24760                    |           |               | 26,350                   | 32,200         |            |            | 13,830       |
| 竹藪八尺中層(中) | 1270      | 1.30 | 16,720                   | 26°       | 20'-00" 10642 | 17,790                   | 29,370         | 80         | 70         | 16,450       |
| "         | "         | "    | 1,800                    | "         | "             | 1,920                    | 3,170          | 70         | 70         | 1,550        |
| "         | "         | "    | 6,240                    | "         | "             | 6,640                    | 10,760         | 50         | 20         | 1,100        |
| 計         |           |      | 24760                    |           |               | 26,350                   | 43,500         |            |            | 19,100       |
| 竹藪八尺下層    | 1700      | 1.30 | 10,000                   | 26°       | 20'-00" 10642 | 10,640                   | 23,510         | 80         | 70         | 13,170       |
| "         | "         | "    | 1,800                    | "         | "             | 1,920                    | 4,240          | 70         | 70         | 2,080        |
| 計         |           |      | 11,800                   |           |               | 12,560                   | 27,750         |            |            | 15,250       |
| 合 計       |           |      | 61,320                   |           |               | 65,260                   | 103,450        |            |            | 48,180       |

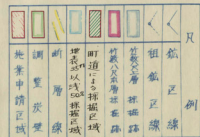
炭量計算圖 縮尺

縮尺：

採登第 1278 號

標 歷 代 1278 變

租登大  $6\frac{4}{87}$  號



凡

4



竹藪八尺上層(上6)  
竹藪八尺上層(下6)

# 炭量計算圖

縮尺三十分一

採登第1278號

採登第1278號

組登第267號

炭量計算表 面積計算は770メタに於

| 炭層名        | 炭丈   | 比量   | 面積    | 總積    | 總積     | 實面積   | 實面積    | 實面積 | 實面積 | 實面積    |
|------------|------|------|-------|-------|--------|-------|--------|-----|-----|--------|
| 竹藪八尺上層(上6) | 0.90 | 43.0 | 38.20 | 20.00 | 108.02 | 1.870 | 2.4070 | 80  | 60  | 11.550 |
| 竹藪八尺上層(下6) | 0.90 | 43.0 | 38.20 | 20.00 | 108.02 | 1.870 | 2.4070 | 80  | 60  | 11.550 |
| 計          |      |      |       |       |        |       |        |     |     |        |
| 竹藪八尺上層(上6) | 0.90 | 43.0 | 38.20 | 20.00 | 108.02 | 1.870 | 2.4070 | 80  | 60  | 11.550 |
| 竹藪八尺上層(下6) | 0.90 | 43.0 | 38.20 | 20.00 | 108.02 | 1.870 | 2.4070 | 80  | 60  | 11.550 |
| 計          |      |      |       |       |        |       |        |     |     |        |
| 合 計        |      |      | 76.40 | 40.00 | 216.04 | 3.740 | 4.8140 | 160 | 120 | 23.100 |

|        |      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|--------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |
| 採登申請区域 | 調査区域 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 | 町界 |





# 竹筴八尺本層 炭量計算圖 縮尺三十分之一

採登第 1278 號

炭量計算表 面積計算口 7774 平方尺

| 炭層名    | 炭長   | 炭寬   | 炭厚   | 炭層   | 炭層   | 炭層   | 炭層   | 炭層   | 炭層   |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 竹筴八尺本層 | 1200 | 1200 | 1200 | 1200 | 1200 | 1200 | 1200 | 1200 | 1200 |
| 計      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |

1278 號

採登第 1278 號

採登第 1278 號

|            |            |            |            |            |            |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 |
| 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 | 採登第 1278 號 |

第十卷の内 第五葉



炭量計算圖

縮尺三十分の一



銘筆権者  
代表取締役  
総業代理人  
共同石炭総業株式会社  
入交 太兵衛  
吉川 茂



鉦業權者 代表取辦役 鉦業代理人  
共同石炭 鉦業 株式會社  
入吉 交川 太茂 衛明

# 炭量計算圖

炭量計算表 面積計算はアラメータによる

| 灰 層 名     | 灰大<br>徑<br>(mm) | 比 重  | 平面積<br>( $\text{cm}^2$ ) | 鋼針<br>數<br>20-00 | 鋼針<br>總數 | 灰面積<br>( $\text{cm}^2$ ) | 理論灰重量<br>(kg) | 安全<br>率 (3%) | 灰收率<br>(%) | 灰收灰量<br>(kg) |        |
|-----------|-----------------|------|--------------------------|------------------|----------|--------------------------|---------------|--------------|------------|--------------|--------|
| 竹炭入土層(上層) | 0.940           | 1.30 | 18.520                   | 582              | 20-00    | 20642                    | 19.710        | 24.090       | 80         | 11.560       |        |
| “         | “               | “    | 6.240                    | “                | “        | 6.640                    | 8.110         | 70           | 40         | 2.270        |        |
| 計         |                 |      | 24.760                   |                  |          | 26.350                   | 32.200        |              |            | 13.830       |        |
| 竹炭入土層(下層) | 1.270           | 1.30 | 16.720                   | 186              | 20-00    | 10642                    | 19.790        | 29.370       | 80         | 16.450       |        |
| “         | “               | “    | 1.800                    | “                | “        | 1.920                    | 3.170         | 70           | 70         | 1.550        |        |
| “         | “               | “    | 6.240                    | “                | “        | 6.640                    | 10.960        | 50           | 20         | 1.100        |        |
| 計         |                 |      | 24.760                   |                  |          | 26.350                   | 43.500        |              |            | 19.100       |        |
| 竹炭入土層     | 1.700           | 1.30 | 10.000                   | 582              | 20-00    | 10642                    | 10.640        | 23.510       | 80         | 70           | 13.170 |
| “         | “               | “    | 1.800                    | “                | “        | 1.920                    | 4.240         | 70           | 70         | 2.080        |        |
| 計         |                 |      | 11.800                   |                  |          | 12.560                   | 27.750        |              |            | 15.250       |        |
| 合 計       |                 |      | 61.320                   |                  |          | 65.260                   | 103.450       |              |            | 48.180       |        |

A horizontal ruler with markings from 0 to 50 centimeters. The ruler is divided into centimeters, with major markings every 10 units (0, 10, 20, 30, 40, 50) and minor markings every 1 unit. The numbers 0, 10, 20, 30, 40, and 50 are printed at the top of the ruler.



竹籤八尺上層(上6)

竹籤八尺上層(下6)

# 炭量計算圖 縮

採登第 1278 號

採登第 1278 號

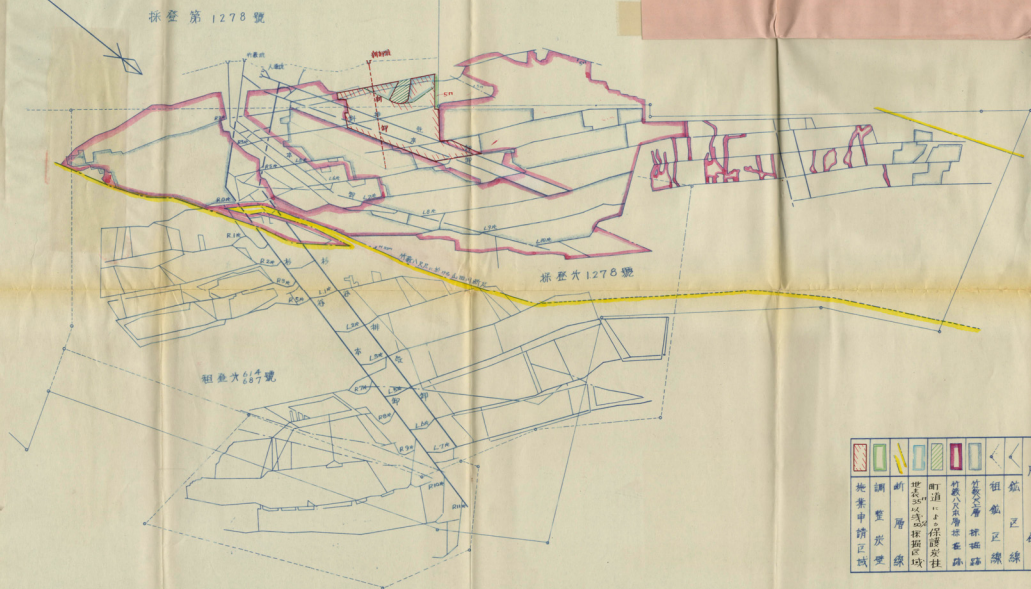
組登第 127 號

|        |      |      |      |      |      |      |      |      |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|        |      |      |      |      |      |      |      | 凡    |
| 地集申請區域 | 調查區域 | 町界區域 | 町界區域 | 町界區域 | 町界區域 | 町界區域 | 町界區域 | 町界區域 |





# 竹筴八尺本層 炭量計算圖 縮尺三十分之一



竹箴八尺本層

炭量計算圖

一、分三千尺縮

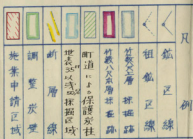
拆登第 1278 號

攝登大 1278 號

租登大 $\frac{614}{687}$ 號

炭量計算表

| 茂層名    | 茂丈<br>(cm) | 比重   | 補正<br>(%) | 砂割<br>sec<br>10.00 | 砂割<br>(%) | 実面積<br>(cm <sup>2</sup> ) | 理論埋置量<br>(kg) | 安全率 | 実収<br>(%) | 実収重量<br>(kg) |
|--------|------------|------|-----------|--------------------|-----------|---------------------------|---------------|-----|-----------|--------------|
| 竹藪八尺本層 | 1700       | 1.30 | 100.00    | 10.92              | 10.60     | 23,510                    | 80            | 70  | 13.70     |              |
|        |            |      | 100       | -                  | 12.20     | 9,240                     | 70            | 70  | 2.08      |              |
| 計      |            |      | 1700      |                    | 12.60     | 27,750                    |               |     | 15.25     |              |



福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭

鉱業株式会社

日吉鉱業所

電話

稲築四三〇番  
大限一一番

昭和 年 月 日

第六葉 坑 外 圖

縮尺 三千分ノ一

第七葉 通氣排水運搬系統圖

縮尺 三千分ノ一

第八葉 坑道探炭規格圖

第九葉 坑道断面圖

縮尺 三千分ノ一

第十葉 選炭系統圖



第十葉の内 第六葉



坑

外

圖

縮尺三千分ノ一

鉱業権者  
代表取締役  
鉱業代理人  
共同石炭鉱業株式会社  
入交太兵衛  
吉川茂明





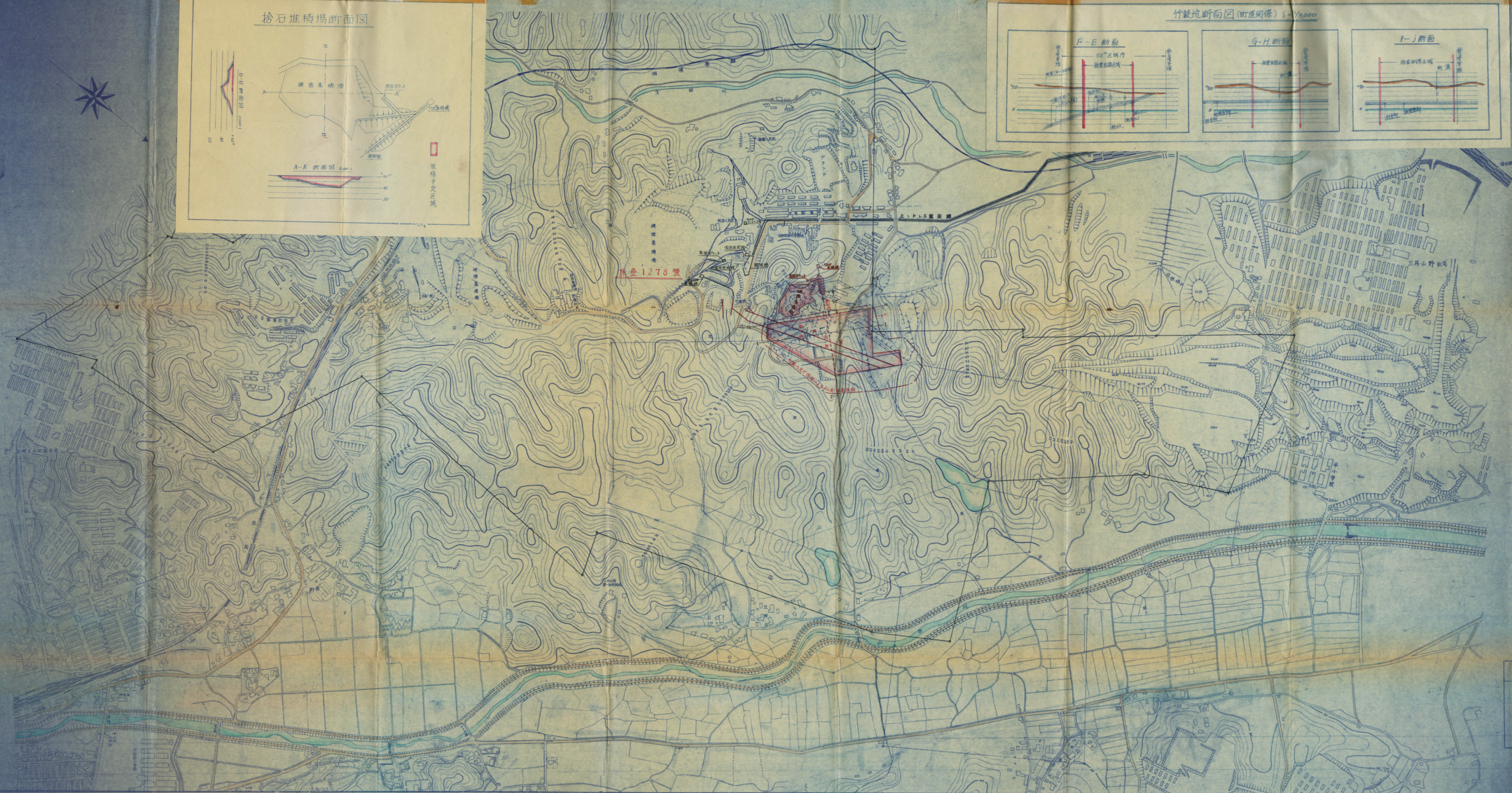
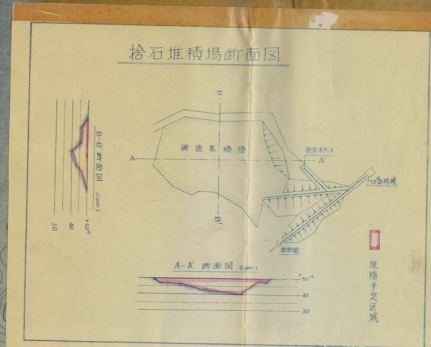
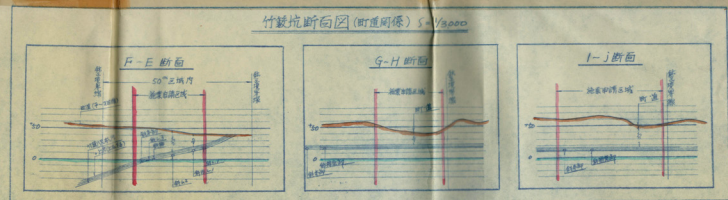
坑外圖

縮尺三千分の一





縮尺三千分の一





第十卷の内 第七葉



通氣排水運搬系統圖

縮尺三千分の一



鉛筆権者 共同石灰工業株式会社  
代表取締役 入交 太兵衛  
鉛筆代理人 吉 川 茂

明





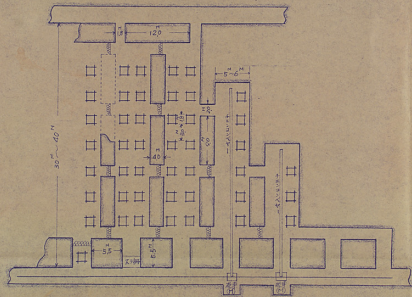


鉱業権者 共同石炭鉱業株式会社  
代表取締役 入交 太 共 衛  
鉱業代理人 吉 川 茂 明

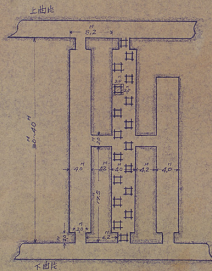


# 坑道規格及採炭規格圖

圖格規採炭房式(柱)



(柱房式) 50%採掘制限区域に於ける  
採炭及充填規格圖



採掘率計算

全区域  $37.0 \times 8.2 = 303 \text{ m}^2$

煤柱面積  $\left\{ \begin{array}{l} \text{煤柱} (35.0 \times 4.2) + (4.0 \times 2.0 \times 2) = 140.0 \text{ m}^2 \\ \text{間柱} 4.2 \times 2.0 = 8.4 \text{ m}^2 \\ 140.0 \text{ m}^2 + 8.4 \text{ m}^2 = 148.4 \text{ m}^2 \end{array} \right.$

比率  $\frac{148.4 \text{ m}^2}{303.0 \text{ m}^2} = 49\%$

充填率計算

実木積  $\left\{ \begin{array}{l} \text{煤柱} 2.0 \text{ m} \\ 2.0 \times 2.0 = 4.0 \text{ m}^2 \end{array} \right.$

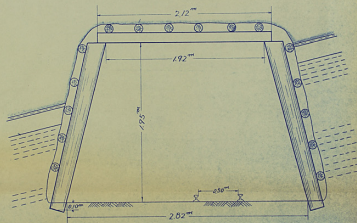
$4.0 \text{ m}^2 \times 19 = 76.0 \text{ m}^3$

充填面積  $= \frac{76.0 \text{ m}^3}{148.4 \text{ m}^2} = 51\%$

# 本卸及排気卸 坑道規格圖

沿層坑道の場合

$$f = 1/20$$

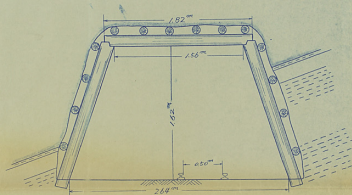




# 片盤坑道規格圖

沼層坑道の場合

f-1/20



第十葉の内 第九葉



坑道断面圖

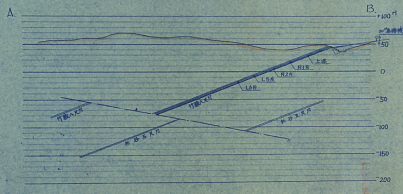
縮尺三千分の一

鉱業権者  
代表取締役  
鉱業代理人

共同石灰鉱業株式会社  
入交 太兵衛  
吉川 茂



A-B  
竹教坑 新卸坑 坑道剖面图 轴尺=+4.1-



招安  
第 102 号  
41.11.18  
昭和十六年十月十八日  
41.11.18

第十卷  
第十葉

選炭系統圖



龍葉權者  
代表取締役  
龍葉代理人  
吉川茂明

共同石炭龍葉株式會社

入交木兵衛

吉川茂明

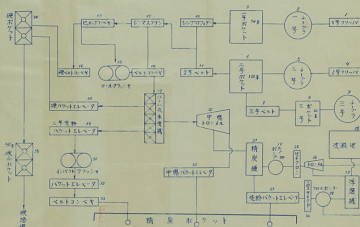




# 選炭系統圖

竹藪選炭機系統圖

調査者 共同炭礦業株式会社  
代表取締役 入交 太夫衛  
調査代理人 吉川 茂明



竹藪選炭機設備一覽表

| 機 械 名      | 型 式 | 数 量 | 容 量  | 速 度     | 寸 法           | 電 動 機<br>馬 力 | 備 考 |
|------------|-----|-----|------|---------|---------------|--------------|-----|
| 1 1号ホッパー   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 2 2号ホッパー   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 3 1号スクリーン  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 4 2号スクリーン  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 5 1号選別機    | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 6 2号選別機    | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 7 精炭ホッパー   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 8 中炭ホッパー   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 9 1号スクリーン  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 10 2号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 11 1号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 12 2号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 13 精炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 14 中炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 15 1号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 16 2号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 17 1号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 18 2号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 19 精炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 20 中炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 21 1号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 22 2号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 23 1号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 24 2号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 25 精炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 26 中炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 27 1号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 28 2号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 29 1号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 30 2号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 31 精炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 32 中炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 33 1号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 34 2号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 35 1号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 36 2号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 37 精炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 38 中炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 39 1号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 40 2号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 41 1号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 42 2号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 43 精炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 44 中炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 45 1号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 46 2号スクリーン | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 47 1号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 48 2号選別機   | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 49 精炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |
| 50 中炭ホッパー  | 型 式 | 1   | 50 t | 5 t/min | 1,800 x 1,800 | 5            | 40  |

福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三二六ノ一

(稲築局区内)

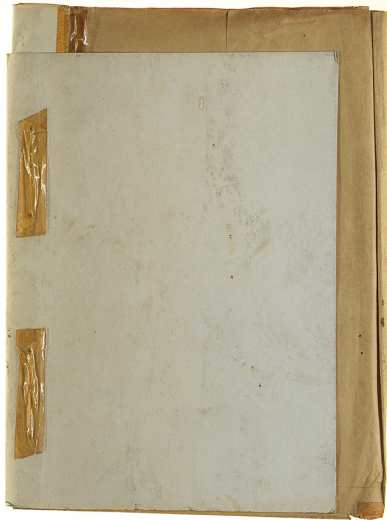
共同石炭

鉱業株式会社

日吉鉱業所

電話

稲築四三〇番  
大隈一一番



申し上げます

昭和四十二年十一月十八日

福岡県嘉穂郡南葉町大字

天間石炭鉱業株式会社

鉱業代理人

吉

川口事務所

福岡通商産業局長  
恩部様殿

三十八番 山口 信



模範種に關する地業承認申請書事前審査略

今國台館の竹藪坑地業區域に建設合理化の爲、昭和四十二年十一月十八日付にて  
坑口開墾工事許可申請書（建設坑口）を提出致しましたので、これに伴う変更  
地業案を別紙の通り作成致しましたので、事前審査方を取扱い下さる様御願ひ  
申し上げます

昭和四十二年十一月十八日

福岡県嘉穂郡福智町大字 沢田 二六

大同石炭地業株式会社

地業代理人

吉

日吉地業所  
川 茂 明

福岡通商産業局長

黒 野 様 殿

紙  
張  
面  
積  
(變更)  
追加

共同印刷製版株式会社  
日  
本  
所



深沢権に對する建築許可申請書

一 敷区所在地

福岡県高橋郡相模町、高橋町、山田町

一 登録番号

福岡県深沢権登録第一二七八号

福岡県登録第一一四号

第六八七号

第七三三号

第七五五号

一 敷山名

日吉原

右深沢において従来深沢中の竹藪を別荘敷更地より変更（変更、追加）建築敷  
したので、建築法第六十三条の規定により関係書類および説明図を添えて申請致し  
ます。

昭和四十一年 月 日

北九州市若狭区本町二丁目二〇六番地

深沢権者 共同右深沢権株式会社

右代表取締役 入 交 太兵衛

福岡県高橋区柳井大字才田二二六番地

日吉興産

家業代理人

吉川

茂

朝

福岡県高橋区柳井大字才田二二六番地

日吉興産

家業代理人

吉川

茂

朝

昭和四十二年十一月一日

福岡県高橋区柳井大字才田二二六番地

日吉興産

家業代理人

吉川

茂

朝

福岡県高橋区柳井大字才田二二六番地

日吉興産

家業代理人

吉川

茂

変更（変更、追加）理由書

昭和四十七年二月二十日付福岡県高橋区柳井大字才田二二六番地  
変更の理由書を提出し、認可を受け、福岡県高橋区柳井大字才田二二六番地  
加します。



竹藪坑新本編上部区域の竹藪八尺上層（上右、下右）及び竹藪八尺本層の掘削区域があるので、その探測方法を要する。

よその掘削方法は今回、新掘削口の掘削の許可を得たので、該坑を開坑し、その主幹道である新幹道を新設し、掘削坑道（入気）として利用し、探測を実施する。

3 掘削坑は石記新開及び従来の詳気録並びに坑口を再考する。

二 当該坑における掘削案の認可および掘削状況は次の通り

|         |                               |        |
|---------|-------------------------------|--------|
| 竹 藪 坑   | 昭和四十一年 九月 一日付 四十一掘削坑掘削案 六九号   | （掘削坑口） |
| 杉谷二尺坑   | 昭和四十一年 五月二十九日付 四十一掘削坑掘削案 六八号  | （掘削坑口） |
| 一 坑     | 昭和四十一年 九月十二日付 四十一掘削坑掘削案 六九号   | （掘削坑口） |
| 二 坑     | 昭和四十一年 九月十二日付 四十一掘削坑掘削案 六九号   | （掘削坑口） |
| 海軍八尺坑   | 昭和四十一年 十月 十七日付 三十五掘削坑掘削案 三五五号 | （掘削坑口） |
| 大 谷 坑   | 昭和四十一年 十月 五日付 二六掘削坑掘削案 一八九号   | （掘削坑口） |
| 大谷露天掘坑  | 昭和二十六年 一月三十 日付 二五掘削坑掘削案 一五四号  | （掘削坑口） |
| 金谷露天掘坑  | 昭和二十六年 一月三十 日付 二五掘削坑掘削案 一五四号  | （掘削坑口） |
| 野添露天掘坑  | 昭和三十一年 十二月十六日付 三〇掘削坑掘削案 三五五号  | （掘削坑口） |
| 才田露天掘坑  | 昭和三十一年 六月十七日付 三一掘削坑掘削案 一七九号   | （掘削坑口） |
| 五反田露天掘坑 | 昭和三十八年十二月二十 日付 三八掘削坑掘削案 一四七号  | （掘削坑口） |

採掘権に關する施設面（変更、追加）

北九州市若松区本町二丁目二〇六番地

採掘権者 共済石炭

石代表取締役 入交 太兵衛

福岡県若松市若松町大字才田二二六番地

日吉炭坑

鉱業代理人 吉川 茂

二、鉱区の所在地および面積

福岡県若松市若松町、若松町、山田市

面積 一八、一〇八アール

三、採掘（権限）権益持分者

福岡炭田権益持分者 一、二七八号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二七九号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八〇号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八一号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八二号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八三号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八四号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八五号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八六号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八七号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八八号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二八九号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九〇号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九一号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九二号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九三号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九四号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九五号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九六号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九七号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九八号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、二九九号（面積一八、一〇八アール）

福岡炭田権益持分者 一、三〇〇号（面積一八、一〇八アール）

馬鞍山および石炭坑の名称

日吉炭坑 竹炭坑（今園中園）、杉谷二尺炭、一尺、二尺、海軍八尺炭、大谷炭

大谷炭、大谷炭、幸多田炭、野崎炭、才田炭、五反田炭、大谷炭

四目約とする鉱物の名称

石炭（今園中園） 耐火粘土

馬鞍山または採掘に關する事項

八、地質の状況

中園区域の地質は第三紀層に属し、頁岩、砂岩、砂質頁岩、礫岩の互層より構成さ

れている。

この間に介在する炭田層は互層層であり、上部より竹炭層、本層群、大谷層群

の三層層が賦存している。

中園は当社所有鉱区（採掘面一、二七八号）のほぼ中央に竹炭層群、南部に本層群の

各層層がある。

走向層は概ね北西から南東に走り、北東の当甲園区域に同つて約二〇度傾斜してい

る。従つて中園区域は全炭層群が賦存している。

主なる層群は中園区域の南部から北部に向つて傾斜、深部も約二〇米の才田川層群、

深上り約五五米の山田川層群、深上り約三十五米の日吉炭層、深上り約五〇米の古



の位置である。

新築地区域の採炭は今新築坑の新築坑口（図示点）より方位西二五三〇分、平均傾斜二〇度〇〇分、掘貫一・一米×二・一米の鉛直坑道を一七五米掘進し中止する。新築坑は現在の坑道維持地点（図示点）よりその方位西一五〇〇分、平均傾斜一二度〇〇分、掘貫一・一米×二・一米にて二〇米掘明掘進し中止する。左連部は左一片短成（図示点）より新築と同一方位（方位西二五三〇分）にて一・一八米掘進し、左六片と連絡するので中止する。右連部も図示点より新築と同一方位にて九五米掘進すると右二片に連絡するので中止する。

以上の方法により主幹坑道を完成せしめる。

片部坑道である上藤坑道は新本部坑道と新築坑道の連絡のため現在掘進中（現在地点図示点）と新築坑道（図示点）とを連絡せしめ、新築地区域内の通気連絡坑道として使用する。

片部坑道は石部坑（右一片より右三片）三片部、左部坑（左一片より左六片）五片部を設定し、その片部坑道（掘貫一・八米×一・八米）は最大一五五米、最小四五米である。

片部間溝は原則として五〇メートルである。

#### 支柱方法

各部坑道の支柱は通常鉄脚で、脚は木脚とする。

片部坑道は木脚を原則とし、必要に応じて鉄脚を使用する。

別羽の支柱は通常坑木の両合枠で行い、掘削路は必要に応じて、型木柱、突木柱又は便巻充項を充填する。  
充項率は約二〇％とする。

#### 掘削の方法

掘削採掘が主であるので、原則として昇降機形式（別羽巾五米×六米）の深掘方法によるものとす。

別羽の深掘は電気オーガーを使用し、電気掘削にて掘削をなす。

±一年間における掘出炭量

|       |         |            |
|-------|---------|------------|
| 竹部坑   | 六〇〇〇〇噸  | （月産四〇〇〇噸）  |
| （新築坑） | 一・一〇〇〇噸 |            |
| 杉部二尺坑 | 七八〇〇〇噸  | （月産八〇〇〇噸）  |
| 一尺坑   | 四〇〇〇〇噸  | （月産五〇〇〇噸）  |
| 二尺坑   | 一八〇〇〇〇噸 | （月産二〇〇〇〇噸） |
| 南津八尺坑 | 六〇〇〇〇噸  | （月産五〇〇〇噸）  |



八 通關に關する事項

幹線坑道には一五匹軌条、片餅は一〇匹軌条を敷設し、軌間はQ五五米である。炭車は容量Q六六立方分の本炭炭車、およびQ七五立方分の軟質炭車を混合して使用する。

坑外主要巻揚機（五〇馬力車組）を坑口より約七五米の位置に設置し、該巻揚機より新坑の出口はすべてこれによつて開出する。

坑内通關

坑内の出炭はすべて前記坑外に設置する五〇馬力主要巻揚機で各片餅の巻立より坑外に巻揚げ、原炭ボタットのチフアラまで運搬する。

片餅坑道は道手押運搬とする。

副道巻揚は、トラフ又はスラを使用し、戸開口まで人力にて運搬し炭車に裝込む。

その他は簡便運搬の類可通り

坑外通關

坑外に運出された石炭は新設する原炭ボタットにチフアラで転搬され、転搬した石炭はダンプカー（六匹機）にて竹藪坑の鉄軌道炭車ボタット迄輸送する。輸送された石炭は現有の竹藪坑水洗機により選炭する。

坑外選炭機

前記坑外主要巻揚機によつて搬出された坑内炭は坑口附近の簡便積集設備まで手押して選炭し輸送する。

七 選炭に關する事項

現在の竹藪坑炭車集めた原炭を電動チフアラで転搬、容量五五匹のキャブに入れ、キャブよりファイダーで五〇匹のランマストリーンにかけ、原炭原粉に分ける。

原炭は毎時二〇匹のピッキングバンドで振選、選を手選し、精選は毎時一〇匹のローラタフシャーで破碎し、ベルトコンベヤーでボタットに入れる。

ランマストリーン以下の炭石は原炭のタフシャーしたものと一様に毎時五〇匹のベルトコンベヤーで水洗機に送る。

水洗はバウム式（毎時五〇匹）水洗機により選炭し、トロンメルに入れ、二五匹以上は洗中選を取り、中選水切ボタットエレベーター（毎時一〇匹）でボタットへ送る。二五匹以下は洗粉としてピットに入れ毎時一五匹の水切ボタットエレベーターでボタットへ送る。

洗粉ボタットよりの水洗水は水道に入れ、これより二式浮遊選炭機（毎時五匹）





その地積子定量は二九六〇立方メートルである。

原地区附近には、民家および公共施設等の建築物はなく、用地は私有地で被害は起らないが、若しその地のある時は土留、石留、鋼等の防衛施設を行い、起り、鋼等の予防工事を為す。

河流水、雨水、水田等に対する防衛施設に關する事項

区内より排水された乳内水は、乳外にあるコンタリト造りの沈降槽に入れ使用水及び水使用水として使用する。

沈水の放流については、式排遊遊設備により微粉面収後チールは一応汚水沈降槽に送り、オーバーした排水は他の沈降槽に移し浄化の上、排水専用コンタリト戸鎖を通じて約九〇〇米離れた才田川に放流する。

本渠に対する被害は当渠に於いて、現在排水設備をなしているから問題は起らないので防衛は別に必要でない。

又雨水に關しては問題は無い。

例その他

保護区域の地盤は原野、山林で、地上物は社有地、私有地、借用地であるので、地上権に關する問題は起らない。

その他防衛可能施設は無い。

#### 九 重要地区又は重要施設の保護者との協議上の調査に關する事項

本地区は重要地区で竹谷、本澤等は共同石炭（日吉）大徳澤等は渡辺南廠、田安南廠等に属する施設であるが、距離二五〇米におよび、距離大なるため保護上の調査事項はない。

重要地区は北西側に渡辺南廠があるが、地区調査として五米の調査距離を設ける。

北東部には古河下山田段があるが、保護区域とは関係をもっているため特に保護上の調査の必要はない。

北部には重要地区六一四号があるが、当保護所の保護区域であるので、調査の必要はない。

その外等に保護については調査の必要はない。

その他防衛可能施設の送り。



建物及道路管理人の承諾願

昭和四十年十一月一日

稲葉新才田

共済会稲葉地区社会福祉事務所  
兼業代理人 吉川茂明

正本対照済

稲葉町女 西田輝盛 殿  
稲葉町 木本元六 殿  
西村文男 殿

今後左記より坑口を開設の上石炭採掘を専ら致し、その中で  
金業法第四十四条の規定に従い、管理人の承諾を申請します。

記

一 施業地区の表示

稲葉町大字才田大へう向と地正(別圖の通り)

一 施業目的

坑口開設の上、石炭採掘

一 五十歳以上の物件

才田——辻間の町道  
木本元六殿住居及附属建物  
サトハチ云場及附属建物

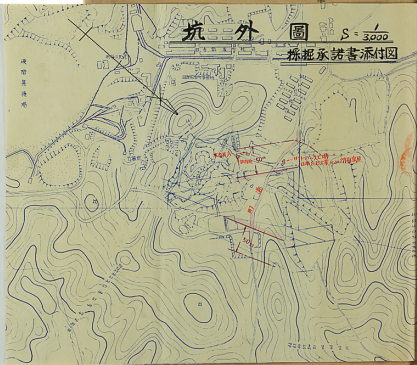
以上



外 圖

$S = \frac{1}{3000}$

標掘承諾書添付図



右承諾す

昭和二十一年四月

東京市立総合資料館蔵

木本元六  
西村文男



鑛業施業案添附圖（変更・追加）

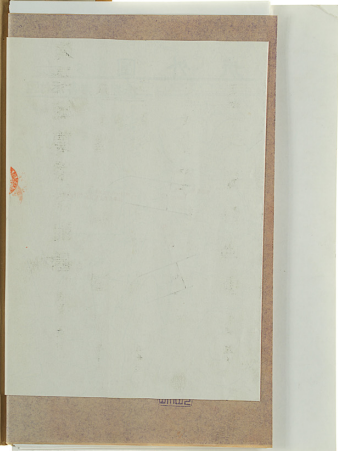
第十葉の内 第一葉 鑛 區 圖 縮尺 五千分の一

第二葉 地 質 圖 縮尺 五千分の一

第三葉 炭層柱狀 圖 縮尺 六十分の一

第四葉 採掘計画 圖 縮尺 三千分の一

第五葉 炭量計算 圖 縮尺 三千分の一



第十葉の内第一葉

鑛

田

圖

縮尺五千分の一

鉦葉権者  
代表取締役  
鉦葉代理人

共同石炭鉦葉株式會社  
入交 太兵衛  
吉川 茂

明



福岡縣採掘權登錄第1278號

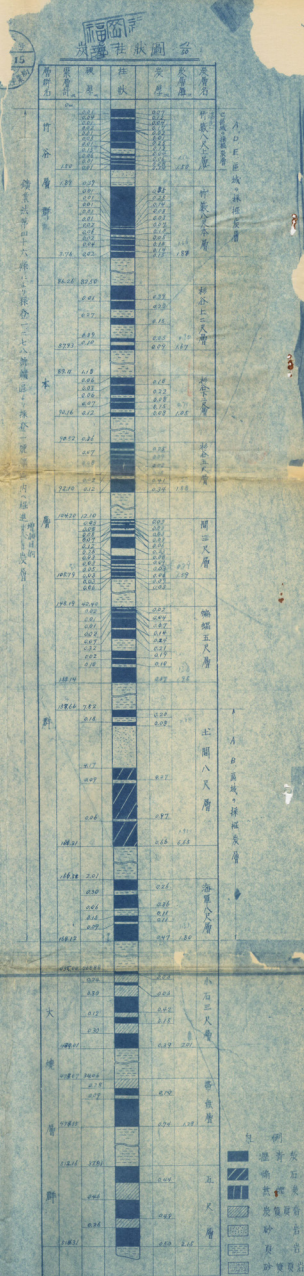
鑛業法第46條に依る

鑛床圖

平面圖 縮尺  $\frac{1}{5000}$



| 總覽表 |          |       |          | 內務省 |
|-----|----------|-------|----------|-----|
| 類別  | 男        | 女     | 合計       | 總數  |
| A   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| B   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| C   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| D   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| E   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| F   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| G   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| H   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| I   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| J   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| K   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| L   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| M   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| N   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| O   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| P   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| Q   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| R   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| S   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| T   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| U   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| V   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| W   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| X   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| Y   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |
| Z   | 1,362.12 | 217.2 | 1,579.32 | 總數  |







地質



縮尺五十分ノ一

鉱業権者

共同石炭鉱業株式會社

代表取締役

入交 太兵衛

鉱業代理人

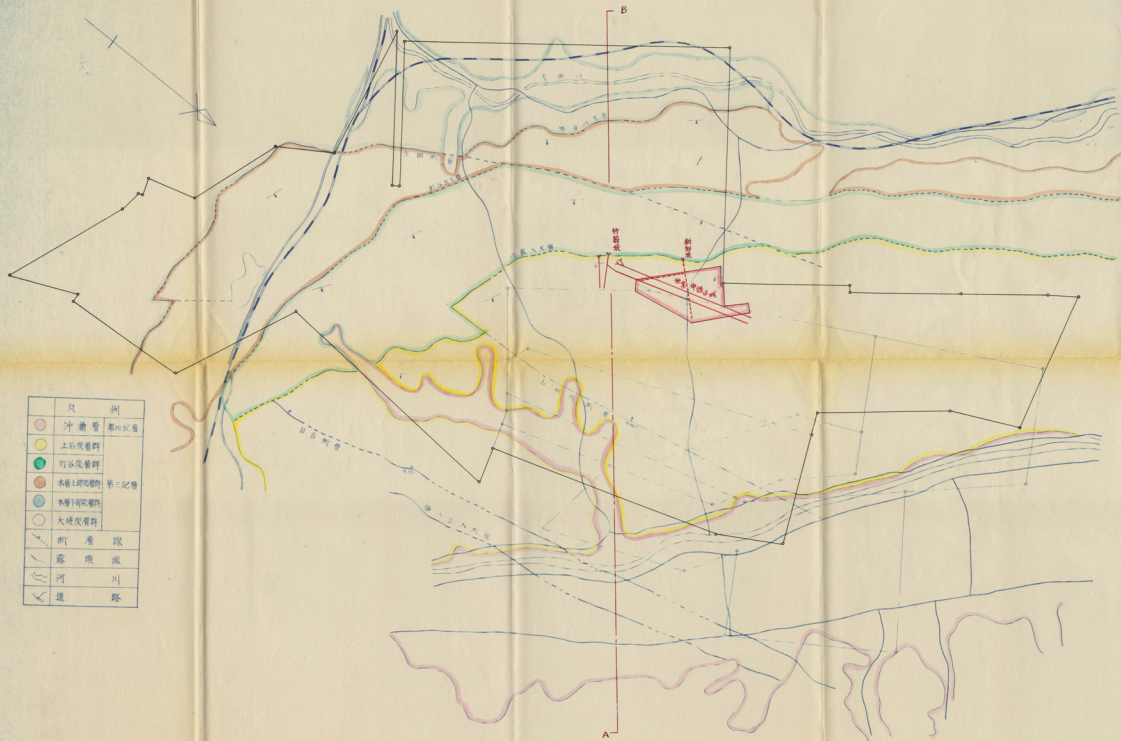
吉川 茂明



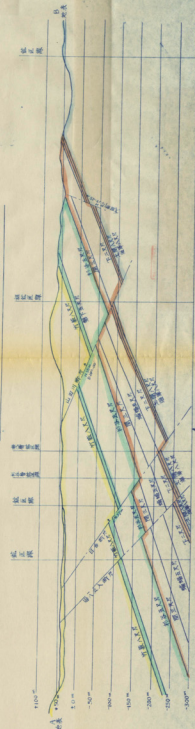


# 地質圖

縮尺 五千分一



A-B 剖面圖 縮尺五千分一



炭層柱狀圖

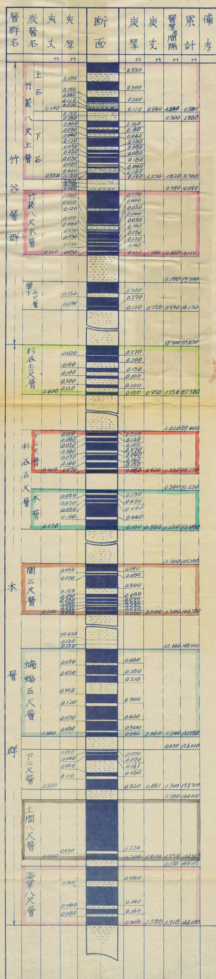
縮尺六十分ノ一

鉦葉権者 共同石灰鉦葉株式會社  
代表取締役 入交 太兵衛  
鉦葉代理人 吉川 茂



# 炭層柱狀圖

縮尺 1/60





福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭

鉾業株式会社

日吉鉾業所

電話

(稲築四三〇番  
大限一一番)

昭和 年 月 日

第六葉 坑 外 圖

縮尺 三千分ノ一

第七葉 通氣排水運搬系統圖

縮尺 三千分ノ一

第八葉 坑道探炭規格圖

第九葉 坑道断面圖

縮尺 三千分ノ一

第十葉 選炭系統圖

第十葉の内 第六葉

坑外

圖

縮尺三千分の一

鉋業権者  
代意取締役  
鉋業代理人

共同石灰鉋業株式會社  
入交 太兵衛  
吉川 茂



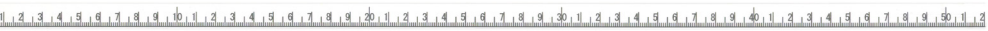


坑外圖

縮尺三千分の一



|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | ㄟ | ㄚ | ㄛ | ㄜ | ㄝ | ㄞ | ㄟ | ㄠ | ㄡ |
| 大 | 市 | 遲 | 鐵 | 地 | 河 | 其 | 成 | 商 | 舖 |
| 字 | 地 | 處 |   | 形 | 川 | 所 | 所 | 運 | 屋 |
| 界 | 界 | 鐵 |   |   | 及 | 是 | 是 | 程 |   |
| 標 | 識 | 路 | 路 | 顯 | 地 | 家 | 物 | 程 | 路 |

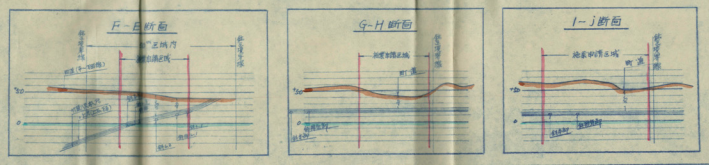




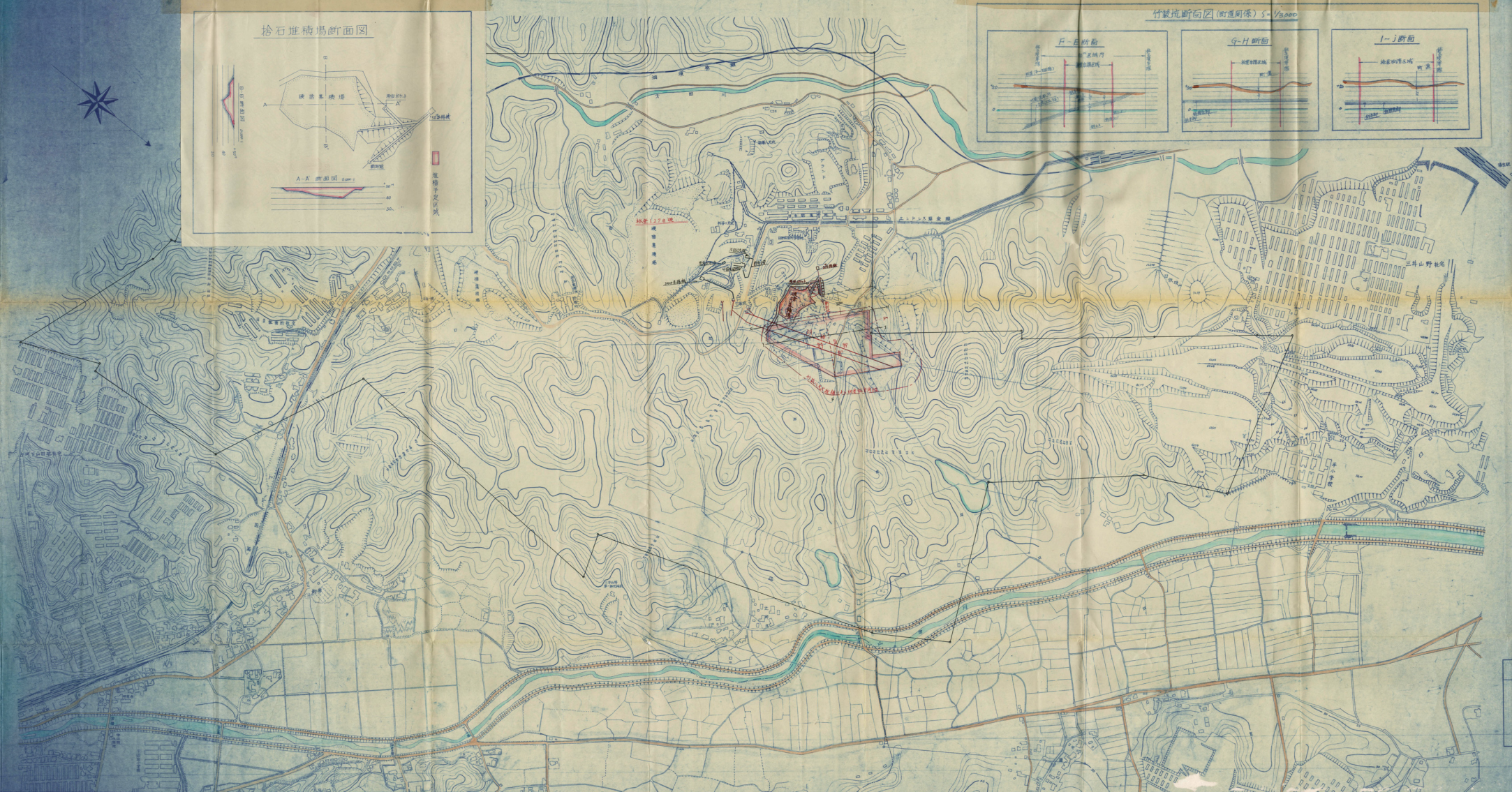
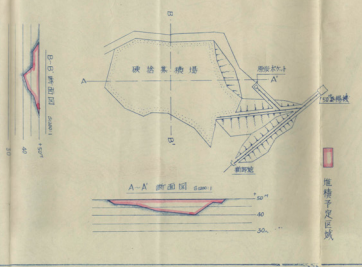
# 坑外圖

縮尺千分一

竹炭坑断面図(町道附係) S=1/5,000



拾石堆積場断面図



|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大 | 寺 | 蓮 | 池 | 河 | 民 | 所 | 橋 |
| 宇 | 路 | 成 | 妙 | 河 | 所 | 老 | 河 |
| 界 | 原 | 湖 | 池 | 湖 | 池 | 池 | 池 |
| 湖 | 湖 | 湖 | 湖 | 湖 | 湖 | 湖 | 湖 |





通氣排水運搬系統圖

縮尺 三千分ノ一

鉅業権者  
代表取締役  
鉅業代理人

共同石炭鉅業株式会社  
入交 木 兵衛  
吉 川 茂



閉



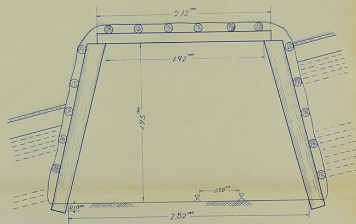
鑛業権者 共同石炭鑛業株式會社  
代表取締役 入交 太 共 衛  
鑛業代理人 吉 川 茂 明

# 坑道規格及採炭規格圖

# 本卸及排気卸 坑道規格圖

沿管坑道の場合

5-1/20

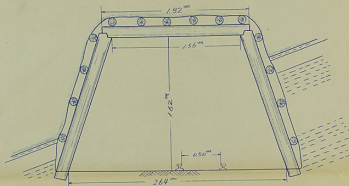




# 片盤坑道規格圖

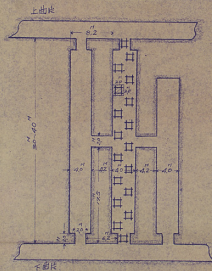
岩層坑道の場合

$$f = 1/20$$





(柱房式) 50% 採掘制限区域に於ける  
採炭及充填規格圖



採掘率計算

$$\text{全区域} \quad 370 \times 8.2 = 3038 \text{ M}^2$$

$$\text{採掘面積} \quad \begin{cases} \text{I区} & (370 \times 4) + (40 \times 20 \times 2) = 1400 \text{ M}^2 \\ \text{II区} & 40 \times 20 = 800 \text{ M}^2 \\ & 1400 \text{ M}^2 + 800 \text{ M}^2 = 2200 \text{ M}^2 \end{cases}$$

$$\text{比率} \quad \frac{2200 \text{ M}^2}{3038 \text{ M}^2} = 72\%$$

充填率計算

$$\text{実充填} \quad \begin{cases} \text{段} 20' & \text{掘} 20' \\ 20 \times 20 = 400 \text{ M}^2 \end{cases}$$

$$40 \times 19 = 760 \text{ M}^2$$

$$\text{充填面積} = \frac{760 \text{ M}^2}{1400 \text{ M}^2} = 54\%$$

第十葉の内 第九葉

坑道断面圖

縮尺三千分の一

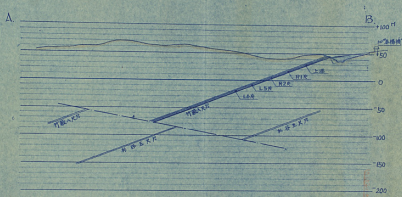
鉦業権者  
代表取締役  
鉦業代理人

共同石炭鉦業株式會社  
入交 木兵衛  
吉川 茂





A-B  
竹箴坑 新解坑 坑道断面图 地尺 三十分之一



選炭系統圖

銘筆権者  
代表取締役  
銘筆代理人  
共同石炭銘筆株式會社  
入交 大兵衛  
吉川 茂



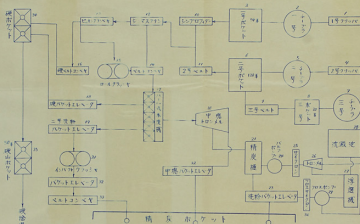
# 選炭系統圖

鑛業検査 共同石炭鑛業株式会社

技術設計 入交 共 衛

機械代理人 吉 川 茂 明

竹炭選炭機系統圖



竹炭選炭機 設備一覽表

| 機 械 名     | 型 式 | 数 量 | 容 量   | 速 度     | 寸 法                | 電 力 要 求 | 備 考 |
|-----------|-----|-----|-------|---------|--------------------|---------|-----|
| 1. フロウ・バ  | 型   | 1   | 50 斗  | 5.6 RPM |                    | 5 HP    |     |
| 2. エー・ア   | 型   | 1   | 50 斗  | 6.8 RPM | 1500 × 1800        | 3       | 60  |
| 3. フロウ・バ  | 型   | 1   | 50 斗  | 5.6 RPM | 500 × 1000 × 1200  | 3       | 60  |
| 4. エー・ア   | 型   | 1   | 50 斗  |         | 1000 × 1500        |         |     |
| 5. フロウ・バ  | 型   | 1   | 100 斗 |         | 1000 × 1000 × 1200 |         |     |
| 6. エー・ア   | 型   | 1   | 100 斗 |         | 1500 × 1800        |         |     |
| 7. フロウ・バ  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 8. エー・ア   | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 9. フロウ・バ  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 10. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 11. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 12. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 13. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 14. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 15. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 16. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 17. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 18. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 19. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 20. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 21. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 22. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 23. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 24. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 25. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 26. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 27. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 28. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 29. フロウ・バ | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |
| 30. エー・ア  | 型   | 1   | 50 斗  |         |                    |         |     |

福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷二二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭  
鉱業株式会社

日吉鉱業所

電話

稲築四三〇番  
大隈一一番

1. 入港の方向 見  
2. 港の深さ 同  
3. 港の長さ 同